

令和5年度 シラバス

整理番号 F保体スポーツII_S22

教科名	保健体育	科	科目名	スポーツII		
履修学年	1	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	4 単位
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育（大修館） アクティブスポーツ（大修館書店）					
学習の目標	各種の運動の合理的な実践を通して知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。スポーツを通じて人間力を高め、地域・社会貢献できる人材を育成する。また健康・安全を確保して、生涯にわたって健康を維持する資質や能力を育てる。					

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解している。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに技能を身に付けている。	知識・技能を活用して課題を解決する為に必要な思考力、判断力、表現力を身に付けている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	各種目において記録測定やスキルテストを行い、評価する。	授業の出席状況や、授業態度、活動への意欲・関心や取り組みも含めて総合評価する。	健康上の理由などで実技が実施できない場合は、課題やレポートなどを含めて総合評価する。

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学 期	・硬式野球・バスケットボール・バドミントン	・競技を通じて人間性を磨きどのような困難に対しても乗り越えていけるような心を育てる。 ・積極的に取り組むことができたか自己評価ができるようになる。基本的な動作を身に付ける。
2 学 期	・硬式野球・バスケットボール・バドミントン	・自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育成する。また、体力について、課題を見つけ解決する方法を考える。 ・基本的な技術の練習から応用練習へ段階的に指導する。 ・チーム内で試合を行う。
3 学 期	・硬式野球・バスケットボール・バドミントン	・健康増進や基礎体力の向上を含め、持続的な体力向上の方法について理解し、運動を実践することができる。 ・基本的な技術の練習から総合練習へと段階的に指導する。 ・ミニゲーム、試合等を行う。チームの目標、個人の目標に向かってどう取り組むべきなのかを常にチェックし、評価・改善し向上できるように取り組む。